

食品産業の社会的責任セミナー

11月19日(火)

15:00～17:00 お申し込み受付中

参加無料

オンライン配信有

主催：一般財団法人食品安全マネジメント協会

jfsm



プログラム(※登壇者・内容は都合により変更となる場合がございます)

- 来賓挨拶(農林水産省 大臣官房 総括審議官(新事業・食品産業) 宮浦浩司様)
- 海外パートナー挨拶(台湾優良食品發展協會(TQFA)理事長 周能傳様)
- 主催挨拶(一般財団法人食品安全マネジメント協会理事長 小谷雅紀)
- 主催者セミナー「持続可能サプライチェーン評価プラットフォーム『SSCAP』が実現する、企業の社会的責任への取り組みの可視化と効率化」(一般財団法人食品安全マネジメント協会 SSC事業部マネージャー 若谷尚子)
- パネルディスカッション「社会的責任への取り組みの現場課題と『持続可能サプライチェーン評価プラットフォームSSCAP』がもたらす変化」

パネリスト：一般財団法人食品安全マネジメント協会 社会的責任評価モジュール策定作業部会(2023/7/1～2024/6/30)委員の皆様(順不同)



赤羽 真紀子様
CSRアジア(株)
日本代表



佐川 一史様
SOMPOリスクマネジメント(株)
危機管理コンサルティング部
食品グループ グループリーダー



氏家 啓一様
グローバル・コンパクト
ネットワーク・ジャパン
事務局次長



水尾 順一様
(一社)日本コンプライアンス&
ガバナンス研究所 代表理事
駿河台大学名誉教授



小松 俊様
(一社)日本コンプライアンス
&ガバナンス研究所
執行役員

食品関連事業者様に限らず、社会的責任への取り組みやサプライヤー評価についてご関心のある方はぜひご参加下さい！

▼以下どちらかのQRコード/URLよりお申し込みください▼

【東京会場参加:定員50名(先着順)】



https://www.jfsm.or.jp/form_04/
※申込締切:11月18日(月)12:00

会場:AP新橋 Kルーム
(東京都港区新橋1-12-9新橋プレイス5階Kルーム)
プログラム終了後(17:00～18:00)、東京会場では
参加者交流の場をご用意しております。

【オンライン参加:定員500名】



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_j9w_eiPfTbGUnAf_YvKUUA



一般財団法人 食品安全マネジメント協会
Japan Food Safety Management Association

SSCAPシステムは、社会の持続可能な発展に関する活動を可視化するための チェックリスト(設問)による自己評価ツールです。

▶チェックリスト(設問)は、「ISO 26000:2010 社会的責任に関する**世界標準のガイダンス**」を参照し、更に日本企業の状況を踏まえ、日本固有の領域を加えた8つの領域をカバーしています。
①組織統治 ②人権 ③労働慣行 ④環境 ⑤公正な事業慣行 ⑥消費者課題 ⑦コミュニティへの参画及びコミュニティの発展 ⑧その他

▶設問は約200問です。内容と重要度により重みづけを行い、優先順位をわかりやすくしました。
▶調達側は自社の方針に応じてサプライヤー評価の設問をカスタマイズでき、独自の要求事項を追加することもできます。

▶サプライヤー側は、社会的責任に関する取り組みの回答をオンラインで行えます。
▶調達側は、サプライヤーの回答をオンラインで閲覧・容易に分析することができます。
▶作業工程を極力減らしているため、調達・サプライヤー双方の負荷を軽減することができます。

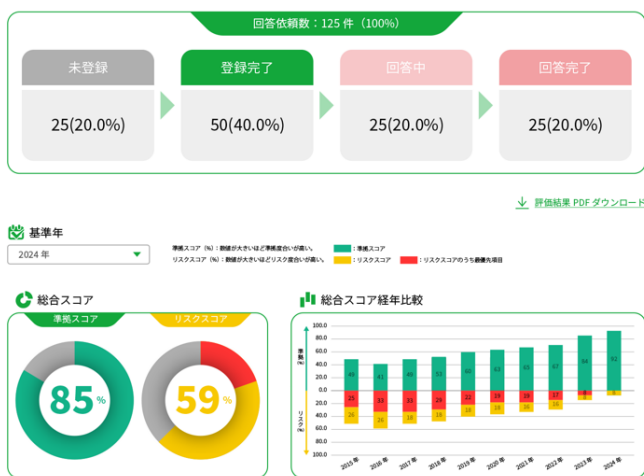
▶企業の社会的責任が求められる背景や意義、必要な行動を学習し、認識成長や行動変容を促す
学習ツール・人材育成ツールとして機能することも期待できます。



SSCAPシステムの画面イメージ図

【回答画面イメージ(サプライヤー側)】
設問ごとに「YES(取り組みが十分)」と
回答できる条件を確認できます

【ダッシュボードイメージ(調達側)】
回答進捗率やスコアを一覧で確認できます



※画面は開発中のイメージです。

<お問い合わせ先>

一般財団法人 食品安全マネジメント協会(JFSM)

(住所)〒104-0061 東京都中央区銀座 8 丁目 17 番 5 号THE HUB 銀座 OCT 605 号室

(E-mail) info@jfsm.or.jp

(TEL)03-6268-9691

(JFSM公式webサイト)https://www.jfsm.or.jp/▶

